

# 第1章 保存管理計画策定の経緯と目的

## 第1節 計画策定の経緯（写真1・2）

国指定史跡宇土城跡は熊本県宇土市神馬町字千畳敷，同字三城他に所在する中世城郭で，南北朝期から戦国期にかけて在地領主・宇土氏や名和氏の居城であった。

昭和49（1974）年1月，宇土市立鶴城中学校の改築移転計画に伴い，その移転用地として宇土城跡の所在する独立丘陵（通称：西岡台）をあてることが市関係機関の協議で決定した。当地は「宇土城跡（西岡）」として昭和47年12月23日に市の史跡に指定されていたため，宇土市教育委員会が主体となり同49年3月から51年3月まで発掘調査を実施した。

調査の結果，古墳時代前期の首長居館を囲む大規模な堀跡，主郭・千畳敷を圍繞する横堀跡や掘立柱建物跡をはじめとする数多くの戦国時代の遺構を検出し，古墳時代や中世を中心とする多量の遺物が出土した。これを受けて遺跡保存の気運が高まった結果，中学校移転計画は中止されて史跡公園として保存する方針が打ち出された。

昭和54（1979）年3月12日の官報告示により，宇土城跡は国史跡に指定され，同56年度には保存整備の基本計画である『史跡宇土城跡環境整備計画』を策定し，同年度より保存整備工事に着手した。その後，『史跡宇土城跡保存整備基本計画書』（平成10・20・25年度）を整備ブロックごとに策定し，これらに基づき保存整備工事を実施している。また，昭和53年度から平成2（1990）年度にかけて公有化事業を実施し，現在，史跡指定地の90.31％が市有地となっている。

保存整備を目的として発掘調査を開始したのは，平成2年度に千畳敷で実施した第4次調査からである。現在までほぼ毎年調査を行っており，千畳敷において多数の掘立柱建物跡を検出したほか，虎口や門跡，横堀跡，竪堀跡の発掘調査を実施している。

調査の成果については，報道機関への発表や現地説明会の開催，発掘調査報告書の刊行，宇土市立図書館郷土資料室における出土品の展示等を通じて一般に公開している。なお，平成18年度より保存整備に伴う発掘調査時に体験発掘や城跡ウォーキングを毎年実施しており，宇土城跡を広く周知する取組みもあわせて展開している。

以上の経緯をふまえ，宇土城跡を史跡として適切に保護し，後世に継承していくために史跡保存管理計画を策定することとし，国庫補助を受けて平成26・27年度の2ヶ年計画で保存管理計画策定事業を実施した。



写真1 発掘調査現地説明会（平成13年度）



写真2 体験発掘（平成23年度）

## 第2節 計画策定の目的

本保存管理計画は、宇土城跡を史跡として適切に保護し、次世代へ確実に継承していくことを目的として、史跡の持つ本質的価値と構成要素を明確化し、それらを適切に保護・保全していくための基本方針、方法、現状変更等の取り扱い基準を定めるものである。

具体的な内容は、以下のとおりである。

史跡の基本情報（概要、来歴、指定経緯、土地利用・所有状況等）を提示する。

史跡の本質的価値を明確にする。

保存管理の基本方針を定める。

保存管理の方法を定める。

現状変更等の許可や追加指定等に関する取り扱い基準を定める。

整備活用に関する基本方針や将来像等を提示する。

運営方法及び体制整備の方向性を定める。

## 第3節 計画策定の体制と経過

### （1）委員会の設置

『史跡宇土城跡保存管理計画書』の策定にあたっては、これまでの経緯をふまえ、保存整備事業に伴い、建築史や日本史、考古学などの学識経験者で構成され、平成9年度より設置していた「史跡宇土城跡保存整備検討委員会」で内容を検討することとした。

なお、計画書策定にあたっては、「史跡宇土城跡保存整備検討委員会設置条例」（平成26年6月23日条例第16号）に基づき、土木、景観、植生等の学識経験者や地元代表者が委員として新たに加わり、宇土城跡の保存管理について総合的な観点から検討を行った。委員会の構成は下記のとおりである。また、文化庁文化財部記念物課や熊本県教育庁教育総務局文化課から計画書策定に関する指導・助言を受けた。

史跡宇土城跡保存整備検討委員会（任期：平成26年7月1日～平成28年3月31日）

委員長	北野 隆	熊本大学名誉教授（建築学）
委員	稲葉 継陽	熊本大学文学部附属永青文庫研究センター教授（国史学）
	鶴嶋 俊彦	熊本城調査研究センター文化財保護主幹（考古学）
	山尾 敏孝	熊本大学大学院自然科学研究科教授（土木工学）
	田中 尚人	熊本大学政策創造研究教育センター准教授（景観）
	田代 周史	熊本県立第一高等学校指導教諭（植生）
	丸目 公一	西岡神宮宮司（地元代表）
	城本 和博	轟地区振興会会長（地元代表）

### オブザーバー

山下 信一郎	文化庁文化財部記念物課史跡部門文化財調査官
木庭 真由子	熊本県教育庁教育総務局文化課主任学芸員

## 事務局

木下 博信	宇土市教育委員会教育長（平成26年4月30日まで）
浦川 司	同上（平成26年6月24日～平成27年9月30日）
太田 耕幸	同上（平成27年10月1日～）
前田 保幸	宇土市教育委員会教育部長
木下 洋介	宇土市教育委員会文化課長
赤澤 憲治	宇土市教育委員会文化課主幹兼係長
藤本 貴仁	宇土市教育委員会文化課参事（主担当）
芥川 博士	宇土市教育委員会文化課技師

## （2）委員会の経過（写真3・4）

保存管理計画策定に至る委員会の開催日と場所、主な検討内容等は以下のとおり。

### ①平成26年度

第1回委員会 平成26年8月26日 宇土市教育委員会1階会議室  
検討内容：委員会の趣旨説明，宇土城跡保存整備事業の概要説明，保存管理計画策定のスケジュール，計画書の章立て等  
現地視察：宇土城跡

第2回委員会 平成27年3月2日 宇土市教育委員会2階会議室  
検討内容：計画書素案（第1章～第6章）に関する検討  
現地視察：宇土城跡

### ②平成27年度

第3回委員会 平成27年10月7日 宇土市教育委員会1階会議室  
検討内容：計画書素案（各章の記載内容，図表等）に関する検討

第4回委員会 平成28年1月27日 宇土市教育委員会2階会議室  
検討内容：計画書全体の最終確認



写真3 第1回会議時現地視察（千畳敷周辺）



写真4 第3回会議風景（宇土市教育委員会）

